

農業生産工程管理（GAP）で 取り組む農作業安全

平成30年2月13日（火）

大吉農園 大吉枝美
（農業女子プロジェクトメンバー）

大吉農園について

所在地：鹿児島県指宿市

経営規模：約25ha



大吉農園について

栽培品目：キャベツ、ケール、枝豆等

人数：パートさん11名（キャベツ班6名、ケール班5名） + 夫婦



大吉農園自慢のキャベツ

大吉農園について

目指すところ：

- ① **女性目線**で、きめ細やかさに配慮しながら、**美味しい野菜**を生産してまいります。
- ② **地域で、女性が活躍できる農業**を目指して頑張ります。
- ③ **大吉農園のブランディング**に取り組んでいきたいと思えます。
- ④ 「**農業って、楽しくてやり甲斐のある仕事**」ということをもっと知ってもらいたいと思っています。



大吉農園自慢のケール、枝豆

大吉農園でのGAPの取組について

- ◆GAP取得のきっかけは、お客様から大吉農園を理解してもらうためのひとつの目印としてJGAP取得をしました。
- ◆高品質・安定生産・安定供給がお客様から求められているものと考えました。
- ◆そのために、農園全体の管理意識を高めることが必要でした。
- ◆認証に向けて、チェック項目をひとつひとつ検討し改善しルールを作りながら準備しました。
- ◆JGAPに取り組むにあたり、労働安全に関する項目をまとめたオリジナルの「リスク評価表」を作成しました。

(参考) 作業者の安全に関するリスク評価表

帳票 19

■作業者の安全に関するリスク評価表

記入日: 2018年 1 月 2日

危険な作業・道具・場所等 農場名: 大吉農園

記入者: 大吉枝美

発生する作業工程	対象となる 作業・道具・場所等	考えられる危険とは？	対処・対策等(必要な場合)	リスク(危険性)評価						
				発生頻度			危害の重大さ			
				高	中	低	大	中	小	
収穫時	収穫包丁	包丁での切り傷・他者への怪我	手袋の着用・移動時は刃を下に向ける			○	○			
草刈り	刈り払い機	小石の飛散によるケガ	フェイスゴーグルの着用/飛散防止ガード		○		○			
草刈り	刈り払い機	ブロック・側溝に当たって刃こぼれ	草刈り用ズボンの着用/チップソーガード		○		○			
草刈り	刈り払い機	他者が近寄っていることに気が付かない	離れたところから本人の正面に周り手を振る			○	○			
定植作業	全自動移植機	ギアの入れ間違い前進とバック	低速での発進・土手からの距離を置くこと		○		○			
定植機械の移動	全自動移植機	足場板からの転落	車輪の中心に足場板が来ていることを確認			○	○			
定植作業時	全自動移植機	育苗トレイの苗詰まりによる不具合	破損したトレイを取り除くときはエンジンオフ			○	○			
中耕管理作業	乗用管理機	転倒:段差による転倒	段差の手前で切り返し乗り上げないように	○			○			
中耕管理作業	乗用管理機	転倒:重量による横転	肥料重量により遠心力がかかるためゆっくり		○		○			
中耕管理作業	乗用管理機	高土手に上がる場合	ウイリーするのでバックで侵入すること		○		○			
薬剤散布作業・耕うん作業	トラクター	高土手からの転落	余裕を持ってターンすること	○			○			
農薬作成する	農薬散布機	農薬を吸い込む・健康被害	農薬作成時はマスクゴーグルの着用	○			○			
すべてにおいて注意	高土手	転落・横転・転倒	高土手に近くなったらスローダウンで	○			○			
すべてにおいて注意	側溝	転落・横転・転倒	こまめな草刈りで安全確保	○			○			
枝豆脱莢作業	枝豆脱莢機	手指を挟む機械に巻き込まれるケガ	運転中は手を入れないこと。		○		○			
冷蔵庫開閉	冷蔵庫ドア	ドアに挟まる・ぶつかる	開閉時声掛けすること		○		○			
枝豆選別作業	枝豆選別機	手指を挟む機械に巻き込まれるケガ	袖カバーの着用・異音発生時は機械を停止してから確認する事	○			○			

大吉農園でのGAPの取組について

- ① 作業工程のどこにリスクが潜んでいるのかを洗い出しました。
- ② 考えられる危険に対して 安全に作業ができるようルールを作りました。
- ③ 安全に作業するために必要な道具を購入しました。（ヘルメット・袖カバー・草刈り用サロペット・フェイスゴーグル・チップソーガード・飛散防止ガードなど）
- ④ 注意喚起用のシールや危険箇所のマーキングなど安全に作業できる環境を整えていきました。
- ⑤ JGAP勉強会では 声掛けの大切さや作業に心のゆとりを持って取り組むことなどメンタルの部分も安全性を高めることにつながると周知しました。



「リスク評価表」に基づき、基本的な労働安全にひとつひとつ取り組むことでJGAPを取得しています。

大吉農園でのGAP(労働安全)の取組事例について

- ◆ 草刈作業の場合、小石飛散による怪我を防止するため、作業者専用の備品（フェイスゴーグルやネット付きのズボン）を支給し、着用の上、作業することとしています。



フェイスゴーグル
草刈りサロペット



襻かけの草刈りバンド
ゴーグル



チップソーガード



飛散防止ガード



大吉農園でのGAP(労働安全)の取組事例について

- ◆ 定植機での作業の時、速度が速かったのでウイリーしてしまったことがありました。初心者マークの頃は、Uターンの時の必要なスペースを把握できていないため、緩衝地帯が狭くて、**高い土手から転落**しました。
- ◆ トラクターの免許を最近とったのですが、急な狭い下り坂の進入路で不安定な体制になってしまい、怖くなったので畑に侵入せず、**作業を諦めました**。主人に報告したところ、その場所は危ないから**無理しなくて正解**だと言われました。
- ◆ **ヒヤッとした時には、無理をしないことが事故防止につながります**。このようなヒヤリハット体験は、**作業休憩中のお茶会で話をして共有**することにしており、近隣の事故事例や新聞記事なども共有し、**注意喚起（声掛け）を徹底**しています。

(参考) 取組風景 (JGAP勉強会)



大吉農園でのGAP(労働安全)の取組事例について

- ◆ 借りた農地で初めて作業する場合は、オリジナルで作った危険箇所確認リストでチェックしてから作業することとしています。

※複数の箇所記入の場合は、箇中にそれぞれを明記すること。

農場名: 大吉農園 H29.10.15

園場名(園場番号)	(15)	主な栽培品目	キャベツ
または、施設名	宇度園 490-1		

「A」(及び「B」)は、図中に記入する(図中)も記入のこと。
※園場に作業中に与える危険要因はありませんか、あればマーキング表示する。

記号	危険箇所	危害要因
A	高土手	トラクター・収穫機 転落・転倒
B	高土手	トラクター・収穫機 転落・転倒
C	畑の隅木柱	草刈機 → 刈り忘れ
D	畑の隅木柱	草刈機 → 刈り忘れ
E	電柱	草刈機 → 刈り忘れ
F	道路	自動車の往来に注意

使用する用水: 自家用汲井戸・公共の用水など(畑の水)

取組を通じて感じる事

- ◆ 労働安全については、常日頃から作業が安全に怪我のない様行われるように話し合いをしながら作業しています。
- ◆ 危ないことを知って作業する事と、危ないことを知らずに作業してしまう事とでは、リスク管理の面において心構えに差が出てくると思います。
- ◆ 怪我をしてしまったからでは遅いので、ヒヤリハット体験を知らせて、作業者に危険が及ばない様、安全第一で作業する事が大切だと思います。
- ◆ チームで行動する事が多いので、お互いの作業の仕方を見ていて危ないと感じた時には、その時に注意するようにしています。
- ◆ 以上のことから、リスクを評価し、作業のルールを作ることで、より安全な作業ができると感じています。
- ◆ JGAPに取り組んだ事で労働安全に対する意識が深まりました。

GAP（農作業安全）に取り組む方へ

労働安全とは、リスクを理解して作業する事。

これに尽きると思います。

特別なことに取り組む必要はなく、日頃から基本的な農作業安全に取り組むことでGAP取得にもつながっています。

皆さんも取り組まれてはいかがでしょうか。